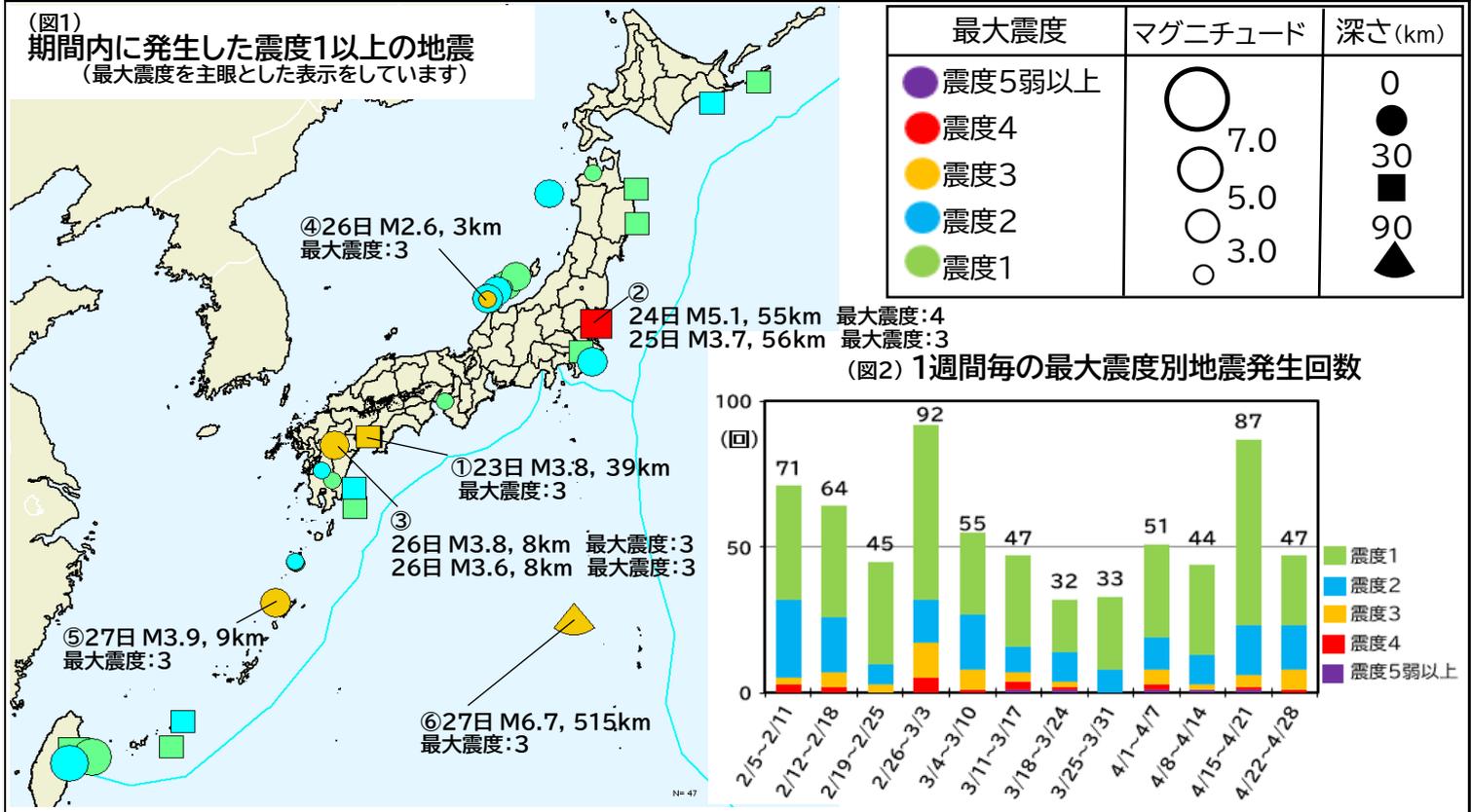


この期間の最大震度は4

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典: 気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が47回発生。最大震度は4。 ■
- ① 4月23日14時29分に豊後水道で発生した地震(M3.8、深さ39km)により、高知県宿毛市で震度3を観測したほか、高知県から宮崎県にかけて震度2~1を観測。
- ② 4月24日20時40分に茨城県北部で発生した地震(M5.1、深さ55km)により、茨城県水戸市・日立市など、栃木県市貝町、千葉県野田市で震度4を観測したほか、東北地方南部から関東、甲信越、東海地方にかけて震度3~1を観測。
- ③ 4月26日10時29分に熊本県阿蘇地方で発生した地震(M3.8、深さ8km)により、熊本県阿蘇市、南阿蘇村で震度3を観測したほか、福岡県から宮崎県にかけて震度2~1を観測。
- ④ 4月26日18時34分に能登半島沖で発生した地震(M2.6、深さ3km)により、石川県志賀町で震度3を観測。
- ⑤ 4月27日06時09分にトカラ列島近海で発生した地震(M3.9、深さ9km)により、鹿児島県瀬戸内町で震度3を観測したほか、奄美市などで震度1を観測。
- ⑥ 4月27日17時35分に小笠原諸島西方沖で発生した地震(M6.7、深さ515km)により、東京島小笠原村で震度3を観測したほか、岩手県から静岡県にかけての広い範囲で震度2~1を観測。この地震は沈み込んでいる太平洋プレートの先端付近の深い所で発生したために広い範囲で震度1以上を観測したもので、通常の震度分布に比べて震源地より遠く離れた所で異常に震度が大きくなることから「異常震域」と呼ばれることがありますが、このような現象を伴う地震はたびたび発生しており、地下で何か異常なことが発生しているということではありません。

トピックス

台湾東部の地震 その後

- 4月3日に台湾東部沿岸の花蓮県付近で発生した地震(Mw7.4、最大震度6強)について、大きな被害や迅速な災害対応の様子が報じられているところですが、その後の地震活動について台湾中央気象署のHPから見てみました。
- 地震活動は時間経過と共に少なくなっていたが、4月22日頃から少し活発になって、活動域もこれまでより南方に移る変化が見られるようです(図3、図4)。
- 突発的に発生する地震から自分と家族を守るためには、地震の危険性を正しく理解し、それに対する備えをすることであるとも広報しています。日本と同じ考え方のようです。

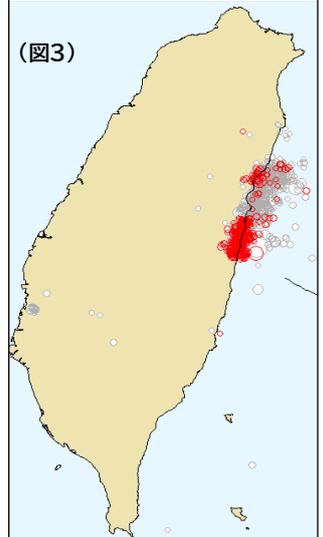
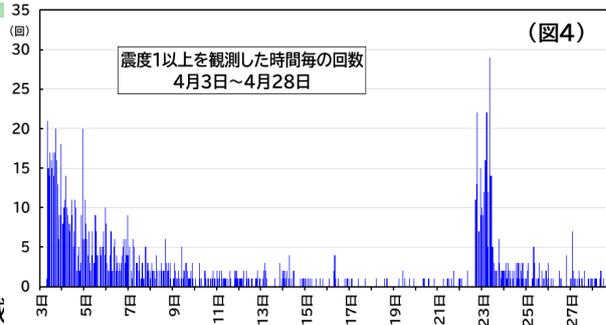


図3: 震央分布図 (震度1以上を観測した地震) 台湾中央気象署の震源データを使用 2024/4/3 --- 2024/4/28 灰丸: 2024/4/ 3 --- 2024/4/21 赤丸: 2024/4/22 --- 2024/4/28 図4: 震度1以上を観測した地震の時間別回数